

NPO 釜ヶ崎

野宿生活者の就労機会拡大・居住・生活の安定のために、私たちは努力します。

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-5-4
TEL06(6630)6060 E-mail: npokama@npokama.org http://www.npokama.org

知ら

第7回釜ヶ崎支援機構総会

2006年6月10日(土) 午後7時 開催

会場：釜ヶ崎支援機構お仕事支援部2階

連絡が遅くなっていますが、第7回釜ヶ崎支援機構社員総会を6月10日(土)午後7時から、釜ヶ崎支援機構お仕事支援部2階にて開催いたします。ご多用とは存じますが、ご参集賜れば幸いです。

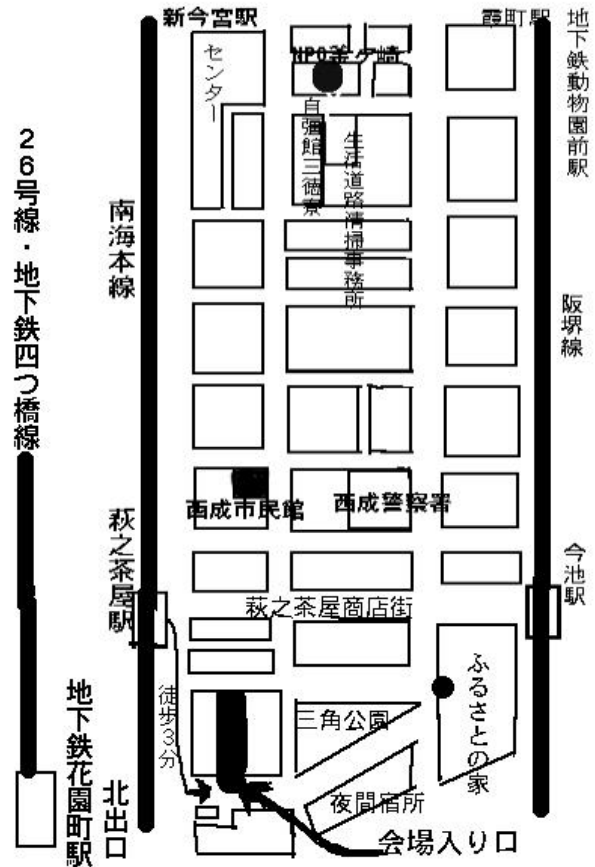
なお、会員の皆様には、すでに往復はがきにて、ご案内と出欠の確認を差し上げております。誠にお手数ではございますが、出欠についてご返信くださいますようお願い申し上げます。折悪しくご欠席となります場合は、かならず、「委任状」欄にご記入いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

第7回総会議題

- (1) 2005(平成17)年度事業報告について
- (2) 2005(平成17)年度会計報告について
- (3) 2006(平成18)年度事業計画について
- (4) 2006(平成18)年度予算案について
- (5) 定款により全理事任期満了による人事について一全理事留任の提案
- (6) その他

以上

釜ヶ崎支援機構の活動は、繰り返しの部門と新しく付け加わる部門があります。まだまだ「進化」の途中ということでしょうか。それとも、「問題解決」が遠のいている現れと考えるべきなのでしょうか。総会を機に、皆様のご意見もお聞かせいただきたいと考えています。



2005(平成17)年度事業報告(案)

就労機会提供事業

a) あいりん高齢日雇労働者等就労事業

大阪市からあいりん高齢日雇労働者等就労事業の事業委託を受け、野宿を余儀無くされている高齢者や野宿を余儀なくされるおそれのある高齢者を雇用して事業の実施にあたった。

雇用延べ人数—38,724人。総額—328,966,710円
(人件費—286,924,079円、その他経費—42,042,622円)



b) 高齢日雇労働者就労自立促進事業

大阪府から高齢日雇労働者就労自立促進事業の委託を受け、野宿を余儀無くされている高齢者や野宿を余儀なくされるおそれのある高齢者を雇用して、府下幹線道路歩道の除草・清掃作業やあいりん労働福祉センター就労幹旋機能向上作業を実施した。

雇用延べ人数—27,238人。総額—240,000,000円
(人件費—207,086,069円、その他経費—32,913,931円)

c) 公共施設等の除草、清掃作業等環境美化事業

大阪市から委託を受け、大阪城仮設避難所入所者の所外作業を実施した。

雇用延べ人数—6,333人。総額—13,568,469円
(人件費—11,020,575円、その他経費—2,547,894円)

d) 大阪城の仮設避難所運営補助事業

みおつくし福祉会から委託を受け、大阪市が設置した西成・大阪城仮設避難所の運営補助を行った。巡回相談や入所者の現金収入となる「所内作業」を実施するほか、野球大会などの懇親会の運営を手助けし、テント生活より少しでもましな「環境」での生活実現に協力した。

雇用延べ人数—2,920人。総額—35,568,440円
(人件費—32,824,186円、その他経費—2,744,254円)

e) 民間の協力による就労機会提供事業

① 連合大阪から委託を受け、5月1日連合大阪主催大阪メーデー会場の清掃を、55歳以上釜ヶ崎労働者を対象とする「西成労働福祉センター」の登録輪番制度を活用して、100名雇用し、実施した。

② ノートルダム修道院や民間企業から除草や塗装・防水等の仕事の委託を受けた。

就労支援事業

a) 大阪府ホームレス就業支援センターより就業相談事業の委託を受け、西成区萩之茶屋3丁目旧職安跡地に「お仕事支援部」を設置、パソコンで求人情報をネット検索できるようにするなど、体制を整えて、職業相談を実施、804人から相談を受けた。そう多くはないが、結果を出すことができた。(1月無料職業紹介所の許可を受けた)。

相談分類の

基準＝「就労」は、救職相談。「就労・福祉」は、年齢や持病等の条件により、生活保

相談分類						
年齢	就労	就労・福祉	福祉	いきがい	その他	総計
16-20	1					1
21-25	7					7
26-30	12	1				13
31-35	16	1				17
36-40	28	2				30
41-45	41	5	1			47
46-50	67	20	2	1	4	94
51-55	101	36	1	3	2	143
56-60	216	41	1	1	1	260
61-65	91	49	8	6	5	159
66-70	11	3	2	7		23
71-75	5	1	1	3		10
総計	596	159	16	21	12	804

相談分類						
月	就労	就労・福祉	福祉	いきがい	その他	総計
7	28	2		5		35
8	73	8		2	2	85
9	33	10	2	4		49
10	85	9		4		98
11	99	24	2	3	1	129
12	58	10			1	69
1	60	19	11			90
2	54	43	1	1	4	103
3	106	34		2	4	146
総計	596	159	16	21	12	804

護申請も視野に入れた職探し相談。「福祉」は、相談者の体力・年齢等の条件により、求職相談で取り扱うには困難なもので、当面、福祉相談でしか対応できないもの。「いきがい」は、居宅保護を受けているが、働く場を求めて相談にきたもの。「そ

2006年度結果分類

年齢	常用就職	期間雇用	期間就労	パート就労	パート就労・福祉	自立センター	福祉	総計
16-20						1		1
21-25		1	1	1				3
26-30		2	1					3
31-35						3		3
36-40			4	1		1		6
41-45	1	4	2	1		4		12
46-50	1	3	7	4	4	2		21
51-55			6	3	3	3	4	19
56-60	4		36	4	5	5	4	58
61-65		1	29		1		7	38
66-70			1					1
71-75			2					2
総計	6	11	89	14	13	19	15	167

の他」は、住民票の移動・年金手続きなど。

結果分類の基準＝「常用就職」は、通常の雇用。「期間雇用」は、期間の定めのある人材派遣会社等に就職したものの。「期間就労」は、釜ヶ崎支援機構が請けた仕事等に短期雇用したものの。「パート就労」は、1日8時間未満の時間、または週5日未満の就労日の雇用条件で働くこととなったもの。「パート就労・福祉」は、パート就労の収入では生活費がまかなえず、生活保護も受けることとなったもの。「自立支援センター」は、自立支援センター入所が確定して報告があったもの。「福祉」は、生活保護を受けることとなったもの。「結果」は、いずれも当人から結果報告があって、結果が把握できたもののみ。

b) 大阪市から「野宿生活者・ニート・高齢者等複合型就業支援モデル事業」の委託を受け、仕事の創出や講習に取り組んだ

①「お仕事四方山話」は、リフォーム業者の協力を得て実施したところ、7名の参加があり、内1名が就職するという結果となった。

②地域での求人求職マッチングシステムの構築

地域での仕事発掘のために「お仕事通信」を2回、西成区内全域に配付した結果、少ないながら、

仕事を発掘することができた。

お仕事大賞発表号配布後には、病院の付き添い1件の仕事の注文があり、ヘルパー2級資格所持の男性を紹介した。なんでも屋「支援」お助け人登録は、現在12名(内女性2名)となっている。

西成区内においては、小冊子の3回配付や区広報紙への掲載、区民フォーラム(650名参加)での「こんなお仕事どうで賞」授賞式などの実施で、地域での求人求職マッチングシステムの構築への関心は高まってきている。また、「こんなお仕事どうで賞」の佳作内容は、西成区地域福祉アクションプランの具体的な取り組みの中に取り入れられ、

地域のつながりづくりの豊富化に貢献する事ができた。

③パソコンの活用

パソコンによる求人情報検索を求職者自身におこなってもらうことにし、関連してパソコン操作の基本について、個別に教えている。また、パソコン講習受講希望者については、初回に1時間程度個別指導をおこない、2回目以降については、自習を中心とし、疑問点についてのみ個別指導をおこなっている。

1日2人平均が職安の求人情報を検索し、あべの職安に紹介状をもらいに行っている。お仕事支援部からあべの職安まで通うのに、自転車の貸し出し(延べ81回)をおこない、職安通いの抵抗感を低める事に貢献している。

④就職阻害要因への対応

面接結果を受ける確実な手段を持たないものについては、携帯電話を貸し出し(延べ53回)、求職活動意欲の向上や就職確率を高めることに貢献した。

公衆衛生モデル事業

大阪市感染症対策室から委託を受け、専従員1名を配置して、輪番労働者に対し、毎月1回実施

されている「あいりん地区住民結核検診」の周知徹底と受診率の向上、結核治療中断防止活動をおこなった。輪番労働者を中心に結核患者のフォローをおこなった。また、昨年に引き続き、大阪ホームレス健康問題研究会と連携し、輪番労働者を対象とした集団検診（レントゲン・血液検査）を実施した。

実施日は、7月25日～8月3日で、1,446人が受診した。

寝場所提供事業



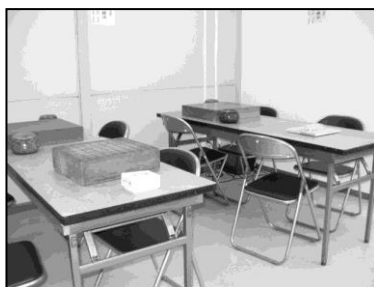
昨年に引き続き「あいりん臨時緊急夜間避難所＝萩之茶屋・今宮（最大利用可能人員1,040人）」の運営を委託され、延べ243,687人に寝場所を提供した。また、夜間宿所運営に必要な人員を野宿生活者から選び、雇用し、就労機会も提供している。

雇用延べ人数—12,202人。総額—103,263,339円（人件費—84,853,240円、その他経費—18,410,099円）

あいりん高齢日雇労働者自立支援事業

大阪市から委託を受け、西成消防署海道出張所跡

地を活用して、あいりん高齢日雇労働者を対象とした能力活用講習事業と憩いの場づくりをおこなうこととなった。そのために、講習場や娯楽室等の整備をおこなった。



▼図書室



▼囲碁・将棋室



▼食事

処

▲喫茶室

自助努力援助事業

野宿生活者の自

助努力を援助するために、野宿生活者からアルミ缶を購入、業者への売却をおこなった。買い取り実績は82,467,020円(767t 341.6kg・延べ持ち込み人数63,445人。

一人あたり平均1,299円)。売却収入は84,411,847円。運搬費用等の経費を差し引く

と2,773,152円の持ち出しとなった。

福祉相談事業

a) 主に就労機会提供事業や寝場所提供事業で関わりができた野宿生活者を中心に、福祉相談（居宅保護・入院・入寮）事業をおこなった。年間新規相談約556名。延べ相談者数11,547



- 人。
- b) 生活保護受給後の生活を安定させるために、「ダートゴルフの会」(毎週土曜日)を開催した。
 - c) 病院訪問やアパート訪問を行った。
 - d) 服薬・金銭管理や買い物・散歩、銀行からの現金引き出し等の付き添い介護を行った。預かり金額は 9,528,302円(157人分、3月末現在)。
 - e) 介護認定の手続きを援助し、介護業者への引き継ぎを行った。
 - f) 「NPO釜ヶ崎・福祉新聞」を発行。簡単な
 - g) 医療情報などの伝達に努めた。
 - h) 住民票の移動手続き、戸籍の復活手続きのサポートなどもおこなった。

広報活動

独自ドメインでホームページを開設し、定款や会員の集いの日程・報告などを公開している。

<http://www.npokama.org>

会報の発行：会報「NPO釜ヶ崎」を3回発行(27号 2005年5月13日・28号 6月9日・29号 12月15日)し、全会員に郵送するほかホームページでも公開した。

現場通信の発行：就労機会提供事業で就労する労働者を対象に「NPO釜ヶ崎・現場通信」を11回発行した。

その他の活動

- * 「萩之茶屋駅周辺まちづくり研究会」・「西成福祉施設人権問題協議会」に法人会員として参加。
- * 「大阪市ホームレス問題懇談会」・「大阪市雇用施策懇話会」・「西成区地域福祉アクションプラン策定・推進委員会」・「CAN 研究会」などに参加。

社員総会の開催状況

第6回社員総会：

日時：2004年6月20日 場所：釜ヶ崎支援機構南分室2階

正会員 50名中 39名(内委任状 19名)、非会員 12名が参加して第6回社員総会が開催された。事業報告・会計報告、事業計画・予算を審議し、採

択した。ハインリッヒ理事辞任に伴う補充人事をおこない、本田哲郎氏が理事に就任することが承認された。

理事会その他の役員会の開催状況

理事会は2回開かれ、当法人の活動の大方針について論議し決定した。

第13回理事会議事：日時：2005年6月20日 釜ヶ崎支援機構南分室2階 午後6時より

1)2003年事業報告 2)2004年事業計画 4)その他

第14回理事会議事：日時：2005年9月

各事業の進捗状況について 各理事多忙につき、山田理事長各理事を訪問、事業の中間報告をおこなった。

新しい事業について

*府営公園管理事業

昨年、府営公園指定管理業者公募に応募し、管理業者として指定されました。本年4月1日から、共同企業体で住吉公園・住之江公園の管理をおこなっています。また、2箇所の公園現場を活用して、「お仕事支援部」登録者を対象に、就労訓練講習を5月から開始しました。

*「禁酒の館」オープン

西成消防署海道出張所跡地利用が確定し、少し内装に手を入れて、再利用が始まりました。技能講習所では、一日置きの2班が自転車修理の講習を受けています。

憩いの場としての活用部分は、基本的に低額サービス提供を基本としました。

図書室・囲碁将棋・洗濯は無料ですが、コーヒー・シャワー利用は100円。お食事処での食事も、ラーメン焼きめしセット 150円、味噌汁 20円としています。

近く、利用者のグループづくりのきっかけになればと考えて、「園芸部(フラワーポット一つを自主管理してもらう)」への参加を呼びかける予定です。

2005年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支報告書(2)【受託事業の部】
(2005年4月1日～2006年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎 支援機構
(単位:円)

科 目	金 額		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 事業収入			
あいりん生活道路清掃事業	150,880,107		
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業	178,086,594		
高齢日雇労働者就労自立支援事業	240,000,000		
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	103,263,339		
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	35,568,440		
大阪ホームレス地域貢献等事業	25,679,000		
公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業	13,568,469		
大阪ホームレス運営協議会相談事業	11,143,651		
フェスティバルゲート外周道路清掃事業	5,922,004		
野宿生活者・ニート・高齢者等複合型就業支援モデル事業	5,000,000		
あいりん高齢日雇労働者就業支援事業	3,189,302		
公衆衛生事業	2,527,844		
経常収入合計(A)			774,828,750
II 経常支出の部			
1 事業費			
<人件費>			
あいりん生活道路清掃事業	135,229,516		
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業	151,694,563		
高齢日雇労働者就労自立支援事業	207,086,069		
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	87,494,711		
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	32,824,186		
大阪ホームレス地域貢献等事業	22,756,600		
公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業	11,020,575		
大阪ホームレス運営協議会相談事業	7,469,000		
フェスティバルゲート外周道路清掃事業	5,624,546		
野宿生活者・ニート・高齢者等複合型就業支援モデル事業	2,265,170		
あいりん高齢日雇労働者就業支援事業	1,602,200		
公衆衛生事業	2,527,844		
人件費計			667,594,980
<その他経費>			
あいりん生活道路清掃事業	15,650,591		
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業	26,392,031		
高齢日雇労働者就労自立支援事業	32,913,931		
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	15,768,628		
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	2,744,254		
大阪ホームレス地域貢献等事業	2,922,400		
公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業	2,547,894		
大阪ホームレス運営協議会相談事業	2,418,999		
フェスティバルゲート外周道路清掃事業	297,458		
野宿生活者・ニート・高齢者等複合型就業支援モデル事業	2,356,433		
あいりん高齢日雇労働者就業支援事業	1,587,102		
その他経費計			105,599,721
経常支出合計(B)			773,194,701
経常収支差額(A)-(B)			1,634,049
前期繰越収支差額(C)			0
当期収支差額{(A)-(B)}+(C)			1,634,049

※注1: 当期収支差額の1,634,049円は大阪ホームレス就業支援運営協議会・市への返還予定額

※注2: 就業延人数=83,503人

あいりん生活道路清掃事業=20,204人	高齢日雇労働者就労自立支援事業=27,238人
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業18,5	あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業=12,202人
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業=2,920人	公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業=1,532人
フェスティバルゲート外周道路清掃事業887人	

2005年度新規受託事業は、以下の通り。

*大阪ホームレス地域貢献等事業 *大阪ホームレス運営協議会相談事業 *フェスティバルゲート外周道路清掃事業 *野宿生活者・ニート・高齢者等複合型就業支援モデル事業 *あいりん高齢日雇労働者就業支援事業

2005年度 特定非営利活動に関わる事業会計貸借対照表(2)【受託事業の部】
(2006年3月31日現在)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎 支援機構
(単位:円)

科 目 ・ 摘 要		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金	現金手元有高	8,435,223		
普通預金	りそな銀行萩之茶屋支店	21,715,981		
普通預金	UFJ 銀行萩之茶屋支店	15,463,612	45,614,816	
未収金		3,189,302		
仮払金		4,658,078	7,847,380	
2 保険印紙				
	雇用保険印紙	1,801,717		
	健康保険印紙	4,727,003	6,528,720	
	流動資産合計			59,990,916
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	3月度消耗品費等	3,185,326		
未払消費税		33,316,905		
預り金				
	社会保険料	6,810,507		
	源泉税等	2,806,735		
	返還金	1,634,049		
支払引当金	社会保険料	12,237,394	59,990,916	
	流動負債合計			59,990,916
III 正味財産の部				
	前期繰越正味財産		0	
	当期正味財産増加額		0	
	正味財産合計			
	負債及び正味財産合計			59,990,916

*未収金は、あいりん高齢日雇労働者就業支援事業分。 *仮払金は、労働保険料中間払い分
*未払金は、各事業消耗品費等。 *未払消費税は、2005年度該当消費税分
*返還金は、大阪市・大阪ホームレス運営協議会へのもの。

2005年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支報告書(1)

(2005年4月1日～2006年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構

(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
正会員会費	380,000	
賛助会員会費	25,000	405,000
2 寄付金等収入		
寄付金	16,956,857	16,956,857
3 事業収入		
受託事業事務補助	44,288,500	
NPO就労部門	7,578,852	
アルミ缶支援部門	84,411,847	
内職支援部門	3,363,064	139,642,263
4 雑収入		
預金利息他	868	868
経常収入合計(A)		157,004,988
II 経常支出の部		
1 事業費		
福祉部門事業費	1,272,820	
就労部門事業費	7,874,550	
アルミ缶支援部門事業費	87,184,999	
内職支援部門	5,045,463	101,377,832
2 管理費		
役員報酬	3,600,000	
役員社会保険料	424,599	
給料	45,646,548	
社会保険料	5,570,777	
家賃	840,000	
水道光熱費	739,587	
消耗品費	1,503,271	
広報費	425,920	
通信費	415,904	
交通費	278,680	
車両費	1,356,344	
リース料	472,500	
損害保険料	120,640	
雑費	906,053	62,300,823
経常支出合計(B)		163,678,655
経常収支差額(A)-(B)		△ 6,673,667
前期繰越収支差額(C)		20,616,683
当期収支差額[(A)-(B)]+(C)		13,943,016

福祉部門損益計算書
2005年4月1日～2006年3月31日

科目	借方	貸方
カンパ		461,270
業務充当金		1,200,000
雑収入		17,435
支援物品費	100,647	
支援交通費	9,410	
活動交通費	340,670	
通信費	34,414	
ボランティア 交通費	210,240	
消耗品費	114,587	
レク謝礼	210,000	
茶菓子代	45,859	
修繕費	1,500	
新聞図書費	27,820	
支払手数料	19,005	
会議費	2,220	
貸し倒れ	634,749	
雑損失	27,587	
合計	1,778,708	1,678,705
当期損失		100,003

福祉部門財産目録
2006年3月31日現在(円)

現金	9,699,353
普通預金	379
商品券	6,000
貸付金	957,991
預かり金	9,528,302
正味財産	1,135,421

*2005年単年収支は、6,673,667円という大幅な赤字となったが、前年度繰り越しで対応できる範囲であった。原因は、2005年度当初から事業受託予定が大幅にずれ、一時的に人件費負担が過大となったため。

2006年度事業計画書

1 受託事業の確実な執行

今年度も、就労事業を中心に、各種事業の委託を受けている。「前年に引き続き」の慣れに陥ることなく、各事業の目的を確実に達成することに努める。また、経費の節約に努め、人件費にまわし雇用の拡大をめざす。

2 働く 機会の拡張を目指して

釜ヶ崎支援機構が野宿生活者対策の基本と考えているのは、あくまでも就労機会提供事業であり、それは当面、行政の仕事出しに期待せざるをえないが、それ以外にも就労機会の拡大を図る必要がある事も確かである。そのために、職業訓練・技能講習の科目を増やす努力をするとともに、実際に日銭の稼げる仕事探しをおこない、野宿生活者に就労機会の一助として提供する。

国からの委託事業実施機関である「ホームレス就労支援センター」から、職業開拓や職業紹介などの事業の委託を受け、積極的に拡大を図るため無料職業紹介所の運営をおこなう。就労場所確保の意味を込めて、公園等の管理などについても引く続き取り組んでいきたい。

3 「禁酒の館」でグループづくりを

釜ヶ崎支援機構海道出張所就労支援センター内にできた高齢者の憩いの場を充実し、利用者の発意によって親睦団体が結成されるような場となることを目指す。

4 福祉相談の多様化を

福祉相談部門の現状を維持するとともに、健康相談やサラ金問題などの相談については専門諸団体と連携を深める事に努める。

また、相談途中あるいは相談後のケアのために必要な施設の確保を目指す。そのために、長期借入金の活用も視野に入れることとする。

5 実施計画の多様さの現実化

大阪府・市が策定した実施計画の内容は多様であるが、実現可能性の乏しい点多々ある。具体的な提案をし、実施について協力することで、実施計画を実効性ある物とすることに努める。

6 環境・まちづくりの視野を

環境問題解決に向けての試みや「まち」の活性化を図るための試みなどが雇用創出におおきな役割を担うことを認識し、環境や「まち」づくりで、他団体との連携を深めていく事に努める。

7 社会的援護を要する人々

他の社会的援護を要する人々を含めた、セイフティネットの構築を模索する。

2005年度 特定非営利活動にかかわる事業会計財産目録(1)
2006年3月31日現在

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構
(単位:円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元有高	8,544,556	
普通預金		2,411,040	
郵便貯金	花園北郵便局	15,710	
郵便振込口座		31,870	
近畿労働金庫		10,000	11,013,176
保証金		1,860,000	
前払リース料		433,125	
仮払金		1,314,186	
立替金		230,532	
貸付金		623,870	4,461,713
	流動資産計		15,474,889
	資産合計		15,474,889
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	職員源泉所得税	170,560	
	社会保険料	625,440	
	その他	18,000	
支払引当金	社会保険料	717,873	1,531,873
	流動負債計		1,531,873
	負債合計		1,531,873
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		20,616,683	
当期正味財産増加額		△ 6,673,667	
	正味財産合計	13,943,016	
	負債及び正味財産合計		15,474,889

※注1: 資金の範囲は現金預金とする
 ※注2: 保証債務はなし
 ※注3: 保証金は就労機会提供事業(大阪府分)で使用する駐車場3ヶ所分
 ※注4: 仮払金・貸付金・立替金はアルミ缶・福祉部門のもの
 ※注5: 近畿労働金庫口座は労金の定額カンパ制度を活用するためのもの

上記は、当法人の財産目録に相違ないことを証する
2006年5月20日

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 理事 山田 實

2006年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支予算書(2)【受託事業の部】
(2006年4月1日～2007年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎 支援機構
(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 事業収入		
あいりん生活道路清掃事業	163,943,300	
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業	178,086,594	
高齢日雇労働者就労自立支援事業	240,000,000	
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	113,561,002	
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	20,716,038	
大阪ホームレス地域貢献等事業	11,468,300	
公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業	4,291,560	
大阪ホームレス運営協議会就業支援事業	62,277,000	
あいりん高齢日雇労働者就労支援事業	16,379,160	
経常収入合計(A)		810,722,954
II 経常支出の部		
1 事業費		
あいりん生活道路清掃事業	163,943,300	
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業	178,086,594	
高齢日雇労働者就労自立支援事業	240,000,000	
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	113,561,002	
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	20,716,038	
大阪ホームレス地域貢献等事業	11,468,300	
公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業	4,291,560	
大阪ホームレス運営協議会相談事業	62,277,000	
あいりん高齢日雇労働者就労支援事業	16,379,160	
経常支出合計(B)		810,722,954
経常収支差額(A)-(B)		0
前期繰越収支差額(C)		0
次期繰越収支差額[(A)-(B)]+(C)		0

※注:いずれの契約においても年度末残高は返還することとなっている

*受託事業の内、「大阪城緊急臨時避難所運営補助事業」、「公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業」、「大阪ホームレス地域貢献等事業」は、いずれも現時点では年度途中までの契約となっている。
*共同企業体で指定管理業者となった住之江・住吉両公園については、会計に関わっていない(金銭の動きに直接関与していない)ので当法人の収支予算書には計上していない。
*2007(平成19)年度以降の受託事業については、見通しが立っていない。「夜間宿所」は、最初に設置された「今宮宿所(三角公園南)」が、設置から7年目に入っている。そもそも、「あいりん臨時緊急夜間避難所」の名称に示されているように、緊急一時的な施設として設置されたものであり、地元への説明でも、3年間という設置期限を限ったのものであった。それが3年間延長となり、また再び延長されたことになっている。この事態は、夜間宿所利用者にとっても望ましいものではない。そもそも夜間宿所は、野宿生活者対策が本格稼働するまでの間に合わせとして位置づけられたものである。施設内容も利用形態も、一時しのぎの域を出ないものである。「野宿状態の支援」ではなく、「野宿状態の解消」をめざすのであるなら、夜間宿所の現在の規模での存続は望ましいものであるとは考えられず、本格的な対策によって縮小されるべきである。当法人の事業規模が縮小しようとも、野宿生活者の利となる。

相変わらず赤字で予算組み!

釜ヶ崎支援機構の本会計は、2006年度が赤字決算。そして、2007年度予算が赤字見込み。それでもなんとか成り立っている世界七不思議の一つ、などと言っている場合ではない。といいつつ、独自事業の展開は思うに任せず、多くの人の支援に頼らざるを得ない状況が続く。

引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

ただ、あまり貧乏らしいことばかり書き連ねて、赤い振り込み用紙を同封していると、受け取った側で精神的負担を感じる方もいるかもしれません。決して、ご寄付を強要する趣旨で振り込み用紙を同封してはなりません。関心を持って、会報をお読みいただけるだけでもありが

たいことだと考えております。

ご理解のほどをお願いいたします。

ことさら改めて説明することでもないのですが、釜ヶ崎支援機構は、「野宿生活者と野宿に至るおそれのある人々」を支援する特定非営利活動法人です。

資本主義的な継続と拡大を求める組織ではありません。野宿の固定につながる施策は、たとえ組織の存続に関わろうとも、その施策の見直しを主張する組織でありたいと考えています。

月3回の就労事業や夜間宿所は、現状では野宿の固定につながる施策といわざるを得ない。だから、よりましな施策との組み替え、当該事業の廃止を主張したい。

2007年度 特定非営利活動にかかわる事業会計収支予算書
(2006年4月1日～2007年3月31日)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構
(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
正会員会費	300,000	
賛助会員会費	20,000	320,000
2 寄付金等収入		
寄付金	7,000,000	7,000,000
3 事業収入		
受託事業事務補助	50,000,000	
NPO就労部門	1,000,000	
アルミ缶支援部門	36,000,000	87,000,000
4 雑収入		
預金利息他	5,000	5,000
経常収入合計(A)		94,325,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
福祉部門事業費	4,000,000	
就労部門事業費	1,000,000	
アルミ缶支援部門事業費	37,000,000	42,000,000
2 管理費		
役員報酬	3,600,000	
役員社会保険料	410,000	
給料	45,400,000	
社会保険料	4,900,000	
家賃	820,000	
水道光熱費	700,000	
消耗品費	600,000	
研修費	100,000	
広報費	600,000	
通信費	600,000	
交通費	400,000	
車両費	400,000	
損害保険料	500,000	
その他	300,000	59,330,000
経常支出合計(B)		101,330,000
経常収支差額(A)-(B)		△ 7,005,000
前期繰越収支差額(C)		13,943,016
当期収支差額{(A)-(B)}+(C)		6,938,016

平成18年度 全国都市再生モデル調査提案書

萩之茶屋駅・天下茶屋駅周辺町づくり研究会

内閣官房 都市再生本部が公募していた「都市再生モデル調査」に萩之茶屋駅・天下茶屋駅周辺町づくり研究会が、大阪市健康福祉局生活福祉部保護課の推薦を受けて応募しました。応募数が多く、採用される確率はものすごく低いといわれていますが、採否に関わらず、是非実現したい取り組みであると考えています。

調査名：

萩之茶屋地区における地域高齢者の社会活動促進と場づくりの取り組み

テーマ・課題：

大阪市西成区は単身高齢世帯が多く、生活保護世帯、野宿生活者が多い。とりわけ萩之茶屋地区は、簡易宿泊所がアパートに転業し、4,000人を超える高齢単身生保世帯が住み、区内あいらん臨時緊急夜間避難所（最大利用人数 600人）や区内公園での炊き出し（1回 7～800人）を、多数の高齢野宿生活者が利用する状況にある。いずれも地縁組織とは縁が薄く、人口比では地縁組織加入者の方が少数派となっている。

高齢生保受給者は、地域とのつながりや社会活動への参加を求めているが、方法がわからない。高齢野宿生活者は、生活保護受給後の生活イメージについて積極的なものを持ち得ないで、命をкаろうじてつなぐ日々の活動にのみ全精力を費やしている。

萩之茶屋地区においては、高齢者が日常参加できる活動を生み出し、高齢生保受給者の社会参加を促進し、地域の活性化をはかることによって、野宿生活者へもあらたな生活イメージを具体的に指し示すことが大きな課題となっている。

活動内容の案

①区内高齢者の存在把握と行事等の参加についてのニーズや参加意向についてアンケート調査を行う。地域利用可能資源についての周知を兼ねる。

②日常活動の場づくりの試みと参加動向実験事業

イ. 拡張された「今宮ふれあい広場」の住民参加による公園デザインの作成と住民参加による緑化事業並びに地域高齢者が適切に利用できる管理・利用体制の構築

ロ. 新設された高齢者憩いの場と「今宮ふれあい広場」とを結ぶ歩道の緑化維持事業

ハ. 萩之茶屋商店街東端市有地に、リサイクルショップをCBとして開店、商店街活性化に資するとともに、中古品再生作業場も併設して、高齢者の働く場を確保する。

ニ. 旧職安跡地遊休部分の地域活用（カフェテラス・ミニ緑地等）をはかる。

③炊き出しの実施方法・場所等について地域内野宿生活者支援団体と懇談会設置。「排除」によらない公園機能の回復をめざし、将来的にはドーム公園として緑ある全天候型公園の実現を模索する。

先導性等のアピール点：

①地縁組織と縁の薄い高齢者を地域組織と結びつけ、活性化する試みは、地域福祉計画で期待される地域のつながりづくりや生活保護世帯自立支援プログラム策定などにおいて、全国的な参考事例となる。

②当研究会は、地区社会福祉協議会・町会組織が中心となって結成されたものであるが、社会福祉法人大阪自彊館や特定非営利活動法人釜ヶ崎支援機構も法人会員として参加し

ており、小地域コミュニティ運営の新しいモデルを提供するものである。

- ③大阪市立大学大学院創造都市研究科との連携により、広い視野と長期的な計画性を確保しながら、日雇労働者中心の簡易宿泊所街から高齢者が安心して暮らせる町への再生に取り組むものである。
- ④つながりづくりにより、地域安全パトロール活動などのボランティア活動に取り組むのはもちろんのことであるが、コミュニティビジネスを組み込むことにより、高齢者の活力の有効活用と商店街の活性化を同時にはかろうとするものである。条件の整備次第によって、高齢者による共同商店・起業を促進するモデルとなりうる。

期待される効果：

- ① 街に何となくただよ「何でもあり」の雰囲気が一掃され、秩序感が呼び戻る。その結果、違法ノミ行為・街頭賭博・街頭覚醒剤販売等違法行為が抑制される効果が期待され、「普通の街」としての再生意欲が醸し出されることになる。

実施体制の整備状況：

- ①大阪市並びに大阪府の行政機関との連携
- ②大阪市立大学大学院創造都市研究科との連携
- ③地域内炊き出し等野宿生活者支援活動団体との連携を予定

本調査と関連する過去の活動実績：

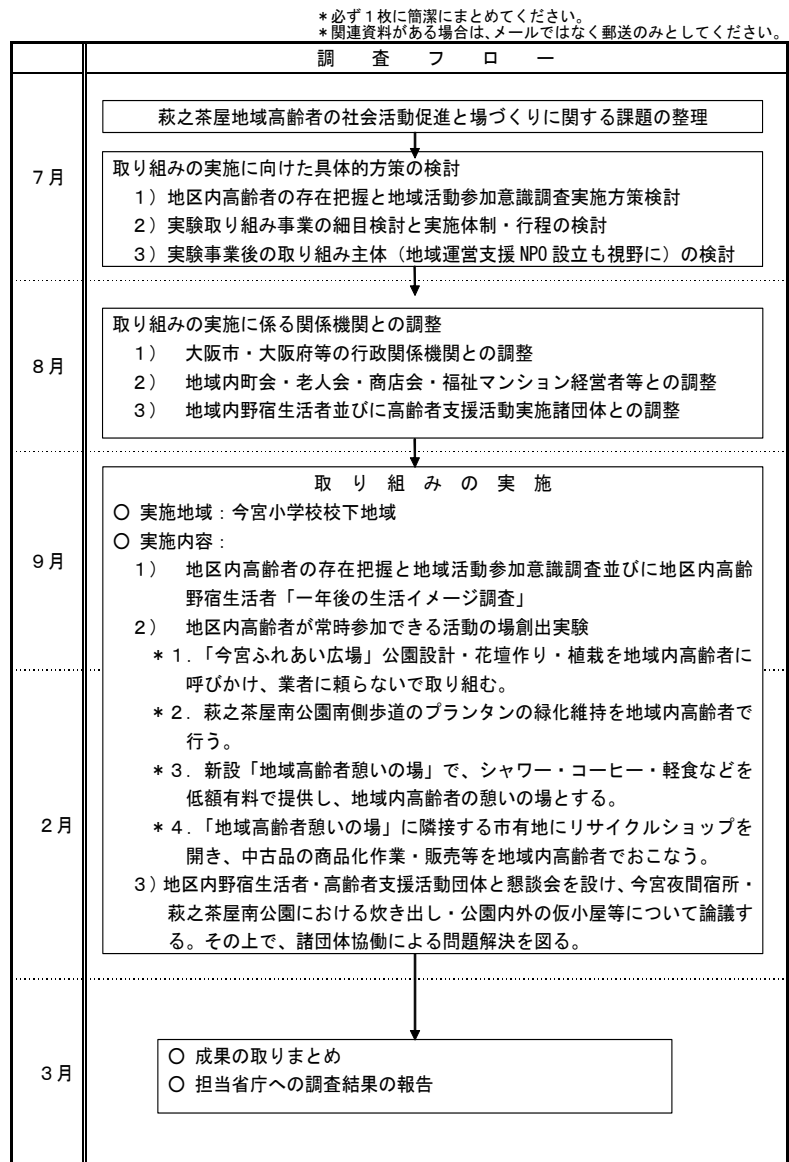
当研究会は、平成14年より、大阪市の町づくり研究団体助成金を受け、他地区への研修・見学会を実施するとともに、定期的に100名を超える住民参加による地区内

清掃活動を実施している。

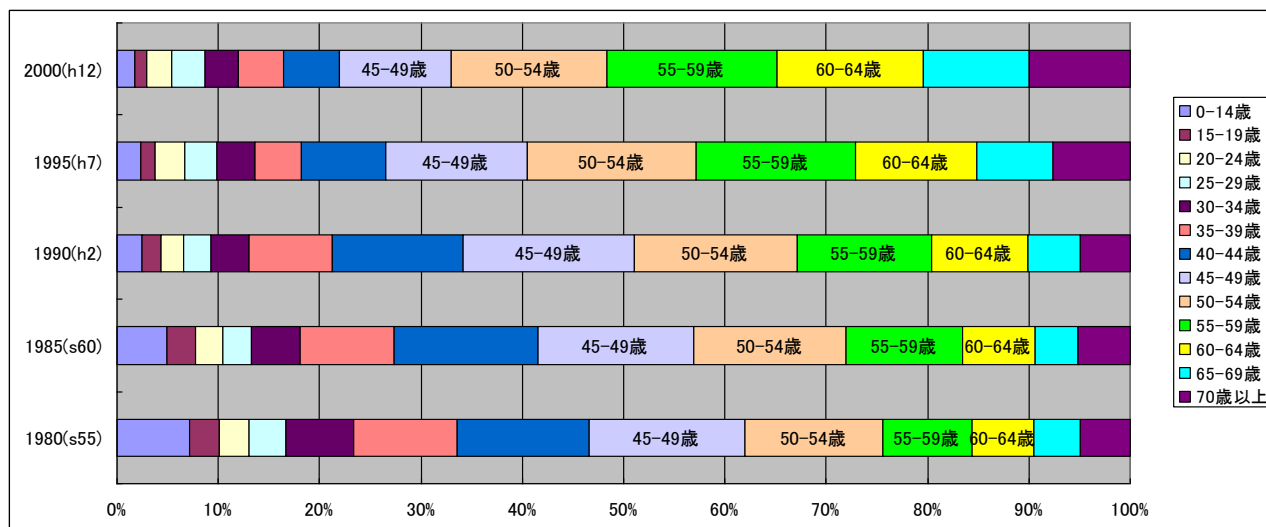
関連する公共空間の整備内容等：

- ① 大阪市が、あいりん臨時緊急夜間避難所並びにあいりん地区高齢者自立支援事業実施場所として使用している市有地の活用方策、および大阪府が所有するあいりん職安分庁舎跡地の活用方策の見直し。
- ② 萩之茶屋南公園（通称三角公園）並びに周辺道路の整備

平成18年度 全国都市再生モデル調査提案書（様式2）



	0-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
1980(s55)	1,592	665	633	808	1,488	2,281	2,893	3,420	3,013	1,963	1,357	1,026	1,094
1985(s60)	1,136	650	624	647	1,123	2,145	3,270	3,557	3,451	2,665	1,659	955	1,201
1990(h2)	667	505	596	729	996	2,207	3,487	4,544	4,316	3,542	2,563	1,392	1,322
1995(h7)	569	342	687	753	913	1,090	1,998	3,342	3,991	3,749	2,863	1,805	1,822
2000(h12)	419	254	571	756	776	1,035	1,272	2,533	3,562	3,881	3,335	2,417	2,310
2005(h17)	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
2000/1980=	26.3%	38.2%	90.2%	93.6%	52.2%	45.4%	44.0%	74.1%	118.2%	197.7%	245.8%	235.6%	211.2%
1980(s55)	7.2%	3.0%	2.8%	3.6%	6.7%	10.3%	13.0%	15.4%	13.6%	8.8%	6.1%	4.6%	4.9%
1985(s60)	4.9%	2.8%	2.7%	2.8%	4.9%	9.3%	14.2%	15.4%	15.0%	11.5%	7.2%	4.1%	5.2%
1990(h2)	2.5%	1.9%	2.2%	2.7%	3.7%	8.2%	13.0%	16.9%	16.1%	13.2%	9.5%	5.2%	4.9%
1995(h7)	2.4%	1.4%	2.9%	3.1%	3.8%	4.6%	8.4%	14.0%	16.7%	15.7%	12.0%	7.5%	7.6%
2000(h12)	1.8%	1.1%	2.5%	3.3%	3.4%	4.5%	5.5%	11.0%	15.4%	16.8%	14.4%	10.5%	10.0%
2005(h17)	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?



60歳以上が3割を超えている釜ヶ崎

国勢調査結果の町丁目年齢別集計で釜ヶ崎の過去5回分を比較すると、最大グループは、1980年から1990年までの3回は、「45-49歳」のグループであったが、1995年と2000年は、5歳ずつ上昇している。2005年の国勢調査については、年齢区分がまだ公表されていないので確かなことはいえないが、多分、2000年より5歳上になっているものと思われる。

釜ヶ崎が流動性の高い、日雇い労働者の町とし

ての性格が強かった時代は、年齢は一定していたが、流動性が低くなり、定着性が高まると、普通の現象として、5年に一回の国勢調査では5歳ごとにグループの年齢は上昇する。

この当たり前の現象に、この町の居住資源や福祉資源は対応しきることができるのだろうか。

野宿生活者の課題も重く大きなものであるが、高齢者の課題も重く大きくなってきている。だから「モデル調査」であり、「禁酒の館」の試みであるのだ。公園から先の生活を見通すためにも。

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 会報 30号 2006年5月30日

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋1-5-4

電話 06(6630)6060 FAX06(6630)9777 E-mail: npokama@npokama.org

会費・寄付の振込口座: 郵便振替: 00900-1-147702 釜ヶ崎支援機構

福祉部門の振込口座: UFJ 銀行萩之茶屋支店(普) 1114951 釜ヶ崎支援機構

釜ヶ崎支援機構 お仕事支援部

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋3-6-12 電話 06(6645)0246 FAX06(6645)0369